

**部局名** フロンティア科学総合研究センター

担当：篠原 明男 准教授

**テーマ** 絶滅が危惧される小型哺乳類における腸内細菌叢の保全

## 取組の背景

我々は、絶滅が危惧されている齧歯類のトゲネズミ属 (*Tokudaia* spp.) を本来の生息地の外で飼育繁殖を目指す域外保全事業に宮崎市フェニックス自然動物園等と共同で取り組んできました。我々はアマミトゲネズミ (*T. osimensis*) の飼育下繁殖に成功しましたが、腸内細菌叢がやや変化してしまうことも判明しました。齧歯類の腸内細菌叢は、餌として食べる植物に含まれる毒の分解に寄与しているとも考えられており、腸内細菌叢も含めた保全策が必要となります。



アマミトゲネズミ  
(*Tokudaia osimensis*)



2019年に宮崎大学でも繁殖成功  
(2019年4月24日撮影)

## 取組の特色

我々が域外保全事業に取り組んでいるトゲネズミ属は、奄美大島・徳之島・沖縄島北部にのみ生息しています。これらの地域は2021年に世界自然遺産への登録が決定しました。世界自然遺産地域に生息する小さな齧歯類を保全するために、その腸内にいる細菌の保全も考えなければなりません。さらに、変化してしまった腸内細菌叢を自然状態へと回復させることの出来る作戦を構築することにもチャレンジしています。

## 期待できる成果・評価 など

変化してしまった小型齧歯類の腸内細菌叢を元に戻す作戦が構築出来れば、疾病個体を保護・治療した個体等の腸内細菌叢も元に戻せるようになるかもしれません。さらには飼育個体の野生復帰への可能性が開けます。

